

令和8年度 高等部 2年（I課程） 新歴史総合 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
70	第一学習社 高等学校 新歴史総合	歴史総合担当者1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近代史の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。                  (思判表力) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。                  (学・人) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>		
------	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	<p>(知及技) 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解できる。                      (思判表力) 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現できる。                      (学・人) 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む態度を養う。</p>	<p>(知・技) 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。                      (思・判・表) 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。                      (主学) 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	第1部 歴史の扉 第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち 第1節 18世紀のアジアの繁栄	私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現することにより、私たちに関わる諸事象が、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 ・ 発問 ・ 課題提出 ・ 小テスト ・ 定期考査
	9	<p>(知及技) 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解できる。                      (思判表力) 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現できる。                      (学・人) 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む態度を養う。</p>	<p>(知・技) 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。                      (思・判・表) 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。                      (主学) 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	第2節 工業化の進展と国民国家の建設	アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを考察し表現して、工業化と世界市場の形成を理解する。 ・ 発問 ・ 課題提出 ・ 小テスト ・ 定期考査
	9	<p>(知及技) 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解できる。                      (思判表力) 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現できる。                      (学・人) 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む態度を養う。</p>	<p>(知・技) 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。                      (思・判・表) 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。                      (主学) 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	第3節 結びつく世界と日本の開国 【近代化と現代的な諸課題】すべての人が尊重される社会へ	アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを考察し表現して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。また、すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて何が必要か考える。 ・ 発問 ・ 課題提出 ・ 小テスト ・ 定期考査
9	<p>(知及技) 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解できる。                      (思判表力) 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現できる。                      (学・人) 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む態度を養う。</p>	<p>(知・技) 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。                      (思・判・表) 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。                      (主学) 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	第4節 帝国主義とアジア諸国の変容 【近代化と現代的な諸課題】貧困と格差の解決に向けて	帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを考察し表現して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ・ 発問 ・ 課題提出 ・ 小テスト ・ 定期考査	

2 学期	9	<p>(知及技) 第一次世界大戦の展開, 日本やアジアの経済成長, ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭, ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に, 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解できる。</p> <p>(思判表力) 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響, 日本の参戦の背景と影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 第一次世界大戦の性格と惨禍, 日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し, 表現できる。</p> <p>(学・人) 諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む態度を養う。</p>	<p>(知・技) 第一次世界大戦の展開, 日本やアジアの経済成長, ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭, ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に, 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。</p> <p>(思・判・表) 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響, 日本の参戦の背景と影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 第一次世界大戦の性格と惨禍, 日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>(主学) 諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	<p>第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>第1節 第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>【国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題】異文化の人々と共生するために</p>	<p>日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 関連付けたりするなどして, 第一次世界大戦の性格と惨禍, 日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを考察したり表現したりして, 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発問</li> <li>・ 課題提出</li> <li>・ 小テスト</li> <li>・ 定期考査</li> </ul>
	10	<p>(知及技) 第二次世界大戦の展開, 国際連合と国際経済体制, 冷戦の始まりとアジア諸国の動向, 戦後改革と日本国憲法の制定, 平和条約と日本の独立の回復などを基に, 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解できる。</p> <p>(思判表力) 第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響, 第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 第二次世界大戦の性格と惨禍, 第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活, 日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し, 表現できる。</p> <p>(学・人) 諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む態度を養う。</p>	<p>(知・技) 第二次世界大戦の展開, 国際連合と国際経済体制, 冷戦の始まりとアジア諸国の動向, 戦後改革と日本国憲法の制定, 平和条約と日本の独立の回復などを基に, 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。</p> <p>(思・判・表) 第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響, 第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 第二次世界大戦の性格と惨禍, 第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活, 日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>(主学) 諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	<p>第2節 経済危機と第二次世界大戦</p> <p>第3節 第二次世界大戦後の世界と日本</p>	<p>第二次世界大戦の性格と惨禍, 第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活, 日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察したり表現したりして, 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。また, 平和な社会の実現には何が求められるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発問</li> <li>・ 課題提出</li> <li>・ 小テスト</li> <li>・ 定期考査</li> </ul>
3 学期	8	<p>(知及技) 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国, 冷戦下の地域紛争, 先進国の政治の動向, 軍備拡張や核兵器の管理などを基に, 国際政治の変容を理解できる。</p> <p>(思判表力) 地域紛争の背景や影響, 冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 地域紛争と冷戦の関係, 第三世界の国々の経済政策の特徴, 欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し, 表現できる。</p> <p>(学・人) 諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む態度を養う。</p>	<p>(知・技) 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国, 冷戦下の地域紛争, 先進国の政治の動向, 軍備拡張や核兵器の管理などを基に, 国際政治の変容を理解している。</p> <p>(思・判・表) 地域紛争の背景や影響, 冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 地域紛争と冷戦の関係, 第三世界の国々の経済政策の特徴, 欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>(主学) 諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	<p>第3章 グローバル化と私たち</p> <p>第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭</p>	<p>日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 地域紛争と冷戦の関係, 第三世界の国々の経済政策の特徴, 欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを考察したり表現したりして, 国際政治の変容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発問</li> <li>・ 課題提出</li> <li>・ 小テスト</li> <li>・ 定期考査</li> </ul>
	8	<p>(知及技) 石油危機, アジアの諸地域の経済発展, 市場開放と経済の自由化, 情報通信技術の発展などを基に, 市場経済の変容と課題を理解できる。</p> <p>(思判表力) アジアの諸地域の経済発展の背景, 経済の自由化や技術革新の影響, 資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し, 表現できる。</p> <p>(学・人) 諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む態度を養う。</p>	<p>(知・技) 石油危機, アジアの諸地域の経済発展, 市場開放と経済の自由化, 情報通信技術の発展などを基に, 市場経済の変容と課題を理解している。</p> <p>(思・判・表) アジアの諸地域の経済発展の背景, 経済の自由化や技術革新の影響, 資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>(主学) 諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	<p>第2節 世界秩序の変容と日本</p>	<p>日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを考察したり表現したりして, 市場経済の変容と課題を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発問</li> <li>・ 課題提出</li> <li>・ 小テスト</li> </ul>
	3	<p>(知及技) 持続可能な社会の実現を視野に入れ, 自ら主題を設定し, 歴史的経緯を踏まえて, 現代的な諸課題を理解できる。</p> <p>(思判表力) 事象の背景や原因, 結果や影響などに着目して, 日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり, 現代的な諸課題を展望したりするなどして, 主題について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現できる。</p> <p>(学・人) 諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む態度を養う。</p>	<p>(知・技) 持続可能な社会の実現を視野に入れ, 自ら主題を設定し, 歴史的経緯を踏まえて, 現代的な諸課題を理解している。</p> <p>(思・判・表) 事象の背景や原因, 結果や影響などに着目して, 日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり, 現代的な諸課題を展望したりするなどして, 主題について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。</p> <p>(主学) 諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	<p>【現代的な諸課題の形成と展望】「探究」活動に取り組んでみよう</p>	<p>これまでの学習を踏まえ, 持続可能な社会の実現を視野に入れ, 生徒が自ら主題を設定して, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 主題について多面的・多角的に考察, 構想し, 現代的な諸課題を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発問</li> <li>・ 課題提出</li> </ul>
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年（I課程） 数学 I 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
105	数 I 「高校数学 I」 実教出版 / なし	数学担当者1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技)                  三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力)                  命題の条件や結論に着目し、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(学・人)                  数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
------	---

学期	時数	単元・題材名	単元・題材の評価規準	単元・題材の学習活動
1 学期	21	3章 三角比 1節 三角比 1. 三角形 2. 三角比 3. 三角比の利用 4. 三角比の相互関係	<p>(知・技)                      ・サイン、コサイン、タンジェントの意味を理解できる。                      ・直角三角形について、三角比の値を求めることができる。                      ・三角比の相互関係について理解できる。</p> <p>(思・判・表)                      ・直角三角形において、2辺の長さが与えられた場合について、三平方の定理を利用することで残りの1辺の長さが得られ、それによって三角比の値を求めることができる。                      ・日常の事象について、三角比を利用して高さや距離が求められることを考察できる。                      ・三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。</p> <p>(主学)                      ・直角三角形において、三角形の大きさにかわらず、角の大きさだけで三角比の値が決まることの良さがわかる。                      ・校舎の高さや、2地点の標高差・水平距離などを、三角比を用いて調べようとしている。</p>	<p>・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解するとともに、鋭角の三角比を利用して2地点の標高差や水平距離を求められるようにする。</p>
	22	2節 三角比の応用 1. 三角比の拡張 2. 三角形の面積 3. 正弦定理 4. 余弦定理 5. 正弦定理と余弦定理の利用	<p>(知・技)                      ・三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解できる。                      ・鈍角の三角比を理解できる。                      ・面積の公式を用いて、三角形の面積を求めることができる。                      ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。</p> <p>(思・判・表)                      ・座標や鋭角の三角比を用いて、鈍角の三角比の値を求められることを考察できる。                      ・鋭角の三角比と同様に、鈍角の三角比においても、三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。                      ・正弦定理や余弦定理を導く過程を考察できる。                      ・余弦定理と三平方の定理との関係を考察できる。                      ・日常の事象について、正弦定理や余弦定理を利用して高さや距離が求められることを考察できる。</p> <p>(主学)                      ・三角形の面積 = <math>1/2 \times \text{底辺} \times \text{高さ}</math> をふり返りながら、面積の公式を考えようとしている。                      ・いろいろな図形について、正弦定理や余弦定理を用いて考えようとしている。                      ・正弦定理や余弦定理を利用することで、実測が難しい身の回りの距離などを求めようとしている。</p>	<p>・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解するとともに、正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求められるようにする。                      ・三角比を用いて三角形などの面積を求めたり、空間図形の考察に活用したりできるようにする。</p>
2 学期	22	4章 集合と論証 1節 集合と論証 1. 集合と要素 2. 命題 3. いろいろな証明法	<p>(知・技) ・集合に関する基本的な概念を理解できる。                      ・2つの集合の和集合・共通部分を求めることができる。                      ・命題に関する基本的な概念を理解し、簡単な命題の真偽を調べることができる。                      ・必要条件、十分条件、必要十分条件について理解できる。                      ・命題の逆や対偶をつくらることができる。</p> <p>(思・判・表) ・集合と命題の関係を考察できる。                      ・対偶などを利用して、簡単な命題を証明することができる。</p> <p>(主学) ・具体的な事象を、集合を用いて表そうとしている。                      ・いろいろな文やことごとについて、命題といえるかどうかを調べようとしている。                      ・身の回りの話題から、命題を考察して、必要条件、十分条件、必要十分条件を考えようとしている。                      ・いろいろな命題について、ねばり強く証明しようしたり、証明の過程を振り返って考えようとしている。</p>	<p>・集合に関する基本的な概念を理解する。                      ・命題に関する基本的な概念を理解するとともに、基本的な命題の証明ができるようになる。</p>
	18	5章 データの分析 1節 データの分析 1. 統計とグラフ 2. 度数分布表とヒストグラム 3. 代表値 4. データの散らばり	<p>(知・技)                      ・与えられたデータを、指定されたグラフで表すことができる。                      ・代表値、四分位範囲、分散、標準偏差などの意味や使い方を理解しており、またそれらを適切に求めることができる。                      ・具体的な事象を通して、仮説検定の考え方を理解できる。</p> <p>(思・判・表)                      ・統計グラフから、どのようなことがわかるか考察できる。                      ・データの散らばり具合を数値化する方法を考察できる。                      ・具体的なデータを元に、表を活用するなどして、相関係数を求める方法を考察できる。</p> <p>(主学)                      ・仮説検定の考え方をを用いて、身の回りの事象を批判的に考察できる。</p>	<p>・統計の基本的な考えを理解するとともに、データの散らばりを数値で表してデータの傾向を把握したり、散布図や相関係数を用いて2つのデータの相関を把握したりできるようにする。</p>
3 学期	12	5. 外れ値 6. 相関関係 7. 仮説検定の考え	<p>(主学)                      ・身の回りのいろいろな統計グラフから、データの特徴を考えようとしている。                      ・身の回りのいろいろなデータを集め、適切なグラフで表したり、代表値や散らばりを調べたりして、データを分析しようとしている。                      ・身の回りの現象で、正の相関関係があるものと負の相関関係があるものについて、調べようとしている。</p>	

<p>学期</p>	<p>課題学習 10 1. 黄金比と√の計算 2. 売上げ金額の最大値を求めてみよう 3. 角度を変えて斜面を滑ろう 4. 何票とると当選？ 5. カード集めの問題</p>	<p>(知・技) ・各章で学んだ知識・理解を元に、計算などを適切に処理できる。 ・課題で取り組むことから理解できる。 (思・判・表) ・各章で学んだ内容を活用し、課題を考察できる。 ・課題について自分の考えを表現したり、他者の考えを聞いて判断したりできる。 (主学) ・自ら課題に取り組み、各章で学んだことをふり返りながら考えようとしている。</p>	<p>・本文で学んだ内容を、生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題に取り組む。</p>
<p>留意点 引継ぎ等</p>			

令和8年度 高等部 2年（I 課程） 体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
70	なし	体育担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 運動の特性・多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。			
------	---	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自己の体力の維持・向上のために計画を立て実生活に役立てることができる。 (思判表力) 自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする事健康・安全を確保できる。	(知・技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自己の体力の維持・向上のために計画を立て実生活に役立てている。 (思・判・表) 自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (主学) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする事健康・安全を確保できている。	体づくり運動	【学習内容】 ・10分間走、 ・ストレッチや体操 ・課題トレーニング ・用具を用いた運動 ・リズムにのって行う運動 ・サーキット
	8	(知及技) 短距離走・リレーの記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、自己に適した中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めることができる。 (思判表力) 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができる。	(知・技) 短距離走・リレーの記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、自己に適した中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めることができている。 (思・判・表) 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 (主学) 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保できている。	陸上競技	【学習内容】 ・短距離走 ・リレー
	12	(知及技) 深く、進む、呼吸をする等の基本的な技能や、複数の泳法及び自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。また安全確保につながる運動の習得や技術の名称や行い方、体力の高め方、解決の方法を理解することができる。 (思判表力) 自己の課題を発見し合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 水泳に自主的に取り組むとともにルールやマナーを大切にしようとする事事故防止に関する心得を遵守する事ができる。	(知・技) 深く、進む、呼吸をする等の基本的な技能や、複数の泳法及び自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。また安全確保につながる運動の習得や技術の名称や行い方、体力の高め方、解決の方法を理解することができる。 (思・判・表) 自己の課題を発見し合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (主学) 水泳に自主的に取り組むとともにルールやマナーを大切にしようとする事事故防止に関する心得を遵守する事ができている。	水泳	【学習内容】 水に慣れ親しみ、水中運動ができ、自己に応じた泳法や課題に挑戦すること。 ・浮く ・進む→歩行、プル、キック ・呼吸、息継ぎ（顔つけ） ・泳法の習得 (長く泳ぐ、速く泳ぐ)
2 学期	12	(知及技) 多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方などを理解するとともに仲間と連携しゲームを展開する事ができる。 (思判表力) 効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えることができる。 (学・人) 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること 互いに助け合い高め合うことができる。	(知・技) 多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方などを理解するとともに仲間と連携しゲームを展開する事ができる。 (思・判・表) 効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えることができる。 (主学) 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること 互いに助け合い高め合うことができている。	ボッチャ型(コントロールドアタック)(モルック)	【学習内容】 ・課題練習 ・個人戦 ・団体戦
	8	(知及技) 安定したボール操作と空間を作りだすなどの連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できる。 (思判表力) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	(知・技) 安定したボール操作と空間を作りだすなどの連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できている。 (思・判・表) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。 (主学) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保できている。	車イスサッカー(PK) 車椅子バスケット(フリースロー)	【学習内容】 ・課題練習 ・個人戦 ・団体戦

	6	<p>(知及技) 多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方などを理解するとともに仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>(思判表力) 効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること 互いに助け合い高め合うことができる。</p>	<p>(知・技) 多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方などを理解するとともに仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>(思・判・表) 効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えることができる。</p> <p>(主学) 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること 互いに助け合い高め合うことができる。</p>	ボウリング	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題練習</li> <li>・個人戦</li> <li>・団体戦</li> </ul>
3 学期	8	<p>(知及技) 役割に応じたボール操作や連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。技術の名称や戦術、作戦の行い方が分かる。また競技の特性を理解し楽しむことができる。</p> <p>(思判表力) 攻防などの自己やチームの課題を発見し合理的な解決に向けて工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 球技に自主的に取り組む。フェアプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすることができる。</p>	<p>(知・技) 役割に応じたボール操作や連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。技術の名称や戦術、作戦の行い方が分かる。また競技の特性を理解し楽しむことができる。</p> <p>(思・判・表) 攻防などの自己やチームの課題を発見し合理的な解決に向けて工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(主学) 球技に自主的に取り組む。フェアプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすることができる。</p>	球技 バレーボール（風船バレー）	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム練習</li> <li>・ゲーム</li> </ul>
	10	<p>(知及技) ポジションの役割に応じたボールや用具の安定した操作と仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開できる。</p> <p>(思判表力) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	<p>(知・技) ポジションの役割に応じたボールや用具の安定した操作と仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開できている。</p> <p>(思・判・表) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(主学) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	ゴロ卓球	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題練習</li> <li>・個人戦</li> <li>・団体戦</li> </ul>
	留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部2年（I課程） 情報探究 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	なし	情報担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (思判表力) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解する。 ・問題の明確化における「問題の発見」の把握の方法について理解する。 ・問題の構成要素の把握や制約条件の整理など、問題の明確化について理解する。 ・検索エンジンを利用し、さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付ける。 ・表計算ソフトウェアを活用し、伝えたい情報に合った適切なグラフを作成できる技能を身に付ける。  (思判表力) ・問題解決の身近な事例に対し、問題の構成要素の把握や制約条件の整理を行い、目標の設定を考慮して表で表現する。 ・適切な情報収集方法を選択し、幅広い観点から情報を収集する。 ・収集した情報を整理し、情報を効果的に分析するための適切な資料を作成し、考察する。 ・解決案を実施して評価を行い、評価結果をまとめる。  (学・人) ・問題解決のためのグループでの取り組み（ブレインストーミングなどの議論）に、積極的に参画する。 ・関心・意欲をもって、収集した情報の整理・分析などを行い、主体的に問題解決に取り組む。 ・問題解決の結果を振り返り、積極的に自己評価や相互評価を行い、改善する。	(知・技) ・問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解している。 ・問題の明確化における「問題の発見」の把握の方法について理解している。 ・問題の構成要素の把握や制約条件の整理など、問題の明確化について理解している。 ・検索エンジンを利用し、さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付けている。 ・表計算ソフトウェアを活用し、伝えたい情報に合った適切なグラフを作成できる技能を身に付けている。  (思・判・表) ・問題解決の身近な事例に対し、問題の構成要素の把握や制約条件の整理を行い、目標の設定を考慮して表で表現することができる。 ・適切な情報収集方法を選択し、幅広い観点から情報を収集できる。 ・収集した情報を整理し、情報を効果的に分析するための適切な資料を作成し、考察することができる。 ・解決案を実施して評価を行い、評価結果をまとめることができる。  (主学) ・問題解決のためのグループでの取り組み（ブレインストーミングなどの議論）に、積極的に参画している。 ・関心・意欲をもって、収集した情報の整理・分析などを行い、主体的に問題解決に取り組んでいる。 ・問題解決の結果を振り返り、積極的に自己評価や相互評価を行い、改善しようとしている。	1 問題解決 1. 問題解決の手順 2. 情報の収集と整理 3. 情報の分析	・問題解決の意味を理解し、問題解決の流れについて学ぶ。 ・具体的な例を元に、問題の明確化（問題の構成要素の把握、制約条件の整理など）について学ぶ。 ・情報収集のための手法（ブレインストーミング、検索エンジンの利用、フィードバック）について学ぶ。 ・収集した情報を整理する方法（KJ法やコンセプトマップなど）について学ぶ。 ・表計算ソフトウェアなどによるデータの数値化などの方法について学ぶ。 ・数値化した情報を視覚的に表現する方法について学ぶ。 ・情報を効果的に分析し、まとめる方法について学ぶ。

2 学期	16	<p>(知及技) ・コミュニケーションにおける、発信者と受信者の人数、位置関係、同期性による分類を理解する。 ・技術の進展によるコミュニケーションの手段の変化について理解する。 ・インターネットを利用したさまざまなコミュニケーションの特徴について理解する。</p> <p>(思判表力) ・電子メールやSNSなどについて、内容や特徴を説明する。 ・コミュニケーションの形態や特性を考え、コミュニケーションの目的に沿った方法を適切に選択する。 ・インターネットを利用したコミュニケーションについて、対面の場合と比較し、気を付けるべき点について説明する。</p> <p>(学・人) ・インターネット上のコミュニケーションに対し、コミュニケーション手段の特性を考え、トラブルが起こらないような態度で取り組む。 ・インターネット上のコミュニケーションにおいて、自からの行動を振り返り、改善する。</p>	<p>(知・技) ・コミュニケーションにおける、発信者と受信者の人数、位置関係、同期性による分類を理解している。 ・技術の進展によるコミュニケーションの手段の変化について理解している。</p> <p>(思・判・表) ・電子メールやSNSなどについて、内容や特徴を説明することができる。 ・コミュニケーションの形態や特性を考え、コミュニケーションの目的に沿った方法を適切に選択することができる。 ・インターネットを利用したコミュニケーションについて、対面の場合と比較し、気を付けるべき点について説明することができる。</p> <p>(主学) ・インターネット上のコミュニケーションに対し、コミュニケーション手段の特性を考え、トラブルが起こらないような態度で取り組んでいる。 ・インターネット上のコミュニケーションにおいて、自からの行動を振り返り、改善しようとしている。</p>	2 コミュニケーション 1. 効果的なコミュニケーション 2. インターネット上のコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの定義、手段、形態について学ぶ。</li> <li>・コミュニケーションの歴史について学ぶ。</li> <li>・インターネット上のコミュニケーションの種類と特徴について学ぶ。</li> <li>・インターネット上のコミュニケーションのメリットとデメリット（即時性、利便性、保存性、匿名）について学ぶ。</li> </ul>
3 学期	7	<p>(知及技) ・スライド作成のためのコンテンツの設計の手順を理解する。 ・プレゼンテーションソフトウェアを用いて、見やすいスライドの資料作成の技能を身に付ける。 ・論理的に情報を伝えるための論理展開の方法について理解する。 ・文書作成ソフトウェアを用いて、わかりやすい資料作成の技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) ・伝えたい内容が同じでも、伝える順序によって受け手の印象が変わることを理解し、コンテンツの構成について考察する。 ・見やすい、わかりやすいスライド資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行う。</p> <p>(学・人) ・わかりやすいプレゼンテーション資料を作成するための工夫をし、プレゼンテーションのリハーサルにも粘り強く取り組む。 ・わかりやすい報告書やレポートを作成するため、文書の作成やレイアウトについて自ら工夫をし、粘り強く取り組む。 ・個人やグループで作成したプレゼンテーション資料や報告書に対し、自己評価や相互評価を行い、フィードバックを行って改善する。</p>	<p>(知・技) ・スライド作成のためのコンテンツの設計の手順を理解している。 ・プレゼンテーションソフトウェアを用いて、見やすいスライドの資料作成の技能を身に付けている。 ・論理的に情報を伝えるための論理展開の方法について理解している。 ・文書作成ソフトウェアを用いて、わかりやすい資料作成の技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) ・伝えたい内容が同じでも、伝える順序によって受け手の印象が変わることを理解し、コンテンツの構成について考察することができる。 ・見やすい、わかりやすいスライド資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。</p> <p>(主学) ・わかりやすいプレゼンテーション資料を作成するための工夫をし、プレゼンテーションのリハーサルにも粘り強く取り組んでいる。 ・わかりやすい報告書やレポートを作成するため、文書の作成やレイアウトについて自ら工夫をし、粘り強く取り組んでいる。 ・個人やグループで作成したプレゼンテーション資料や報告書に対し、自己評価や相互評価を行い、フィードバックを行って改善しようとしている。</p>	3 コンテンツの制作 1. コンテンツ設計 2. スライドの制作と発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションにおけるコンテンツの作成について学ぶ。</li> <li>・コンテンツの論理展開の方法について学ぶ。</li> <li>・スライド制作と見やすくするための工夫について学ぶ。</li> <li>・発表の方法と、評価方法について学ぶ。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年（I課程 特別活動） 年間指導計画

単位数 / 相当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	なし	特活担当：1名

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等  
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 （思判表力）集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 （学・人）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	（知及技）ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解することができる。 （思判表力）ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見だし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践することができる。 （学・人）ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ることができる。	（知・技）ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解している。 （思・判・表）ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見だし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践している。 （主学）ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろうとしている。	・キャリアパスポート ・児童生徒委員会 ・個人目標、学級目標の設定 ・児童生徒総会 ・冲国大生との交流 ・安全学習 ・平和学習 ・運動公園散策 ・夏休みの過ごし方	・年間の目標を立てよう。 ・児童生徒会の活動に参加する。 ・今学期の目標を立てる。 ・交流の自己紹介や合わせクイズを考える。 ・火災時の避難方法について知る。 ・卒業後を見据えて就業体験に取り組む。 ・夏休みは計画を立てて、様々なことに取り組む。
2 学期	17	（知及技）ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解することができる。 （思判表力）ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見だし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践することができる。 （学・人）ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ることができる。	（知・技）ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解している。 （思・判・表）ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見だし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践している。 （主学）ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろうとしている。	・キャリアパスポート ・人権学習 ・対面ゲーム(トランプやボードゲーム等) ・学習発表会の取組 ・他校との交流会に向けての取組み ・修学旅行に向けての取組み	・児童生徒会の活動に参加する。 ・今学期の目標を立てる。 ・いじめについて考え自分なりの意見を持つ。 ・集団の中での自分の役割を確認し、学習に取り組む。 ・卒業後を見据えて就業体験に取り組む。
3 学期	6	（知及技）ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解することができる。 （思判表力）ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見だし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践することができる。 （学・人）ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ることができる。	（知・技）ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解している。 （思・判・表）ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見だし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践している。 （主学）ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろうとしている。	・児童生徒委員会 ・児童生徒会役員選挙 ・卒業生を送る会 ・キャリアパスポート	・児童生徒会の活動に参加する。 ・今学期の目標を立てる。 ・生徒会役員への立候補について考える。 ・卒業生を送る会の企画を生徒会役員と一緒に考える。 ・キャリアパスポートで1年間を振り返ろう。
留意点 引継ぎ等		・地域の他校の生徒と交流する。 ・生徒会役員選挙に参加する。 ・3年生を送る会について考える。 ・儀式的場における礼儀やマナーについて考え、規律ある行動を実践する。 ・R7年度から、「キャリアパスポート」は「特活」での取組みとなる。			

令和8年度 高等部2年（I課程）総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数		教科書／副教材等		担当者名	
70		なし		総合的な探究の時間：担当1名	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(年間目標) (知及技) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようになる。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	1	(知及技)総合的な探究の時間の学習内容や身に付けたい力を理解できるようになる。 (思判表力)総合的な探究の時間を通して、どんな自分になりたいかを考えることができるようになる。 (学・人) 将来のことや今やらないといけないことを前向きに考えようとする態度を育む。	(知及技)総合的な探究の時間の学習内容や身に付けたい力を理解しようとしている。 (思判表力)総合的な探究の時間を通して、どんな自分になりたいかを考えることができるようにしている。 (学・人)将来のことや今やらないといけないことを前向きに考えようとしている。	オリエンテーション  ドリームマップを作ろう  学校の課題を見つけよう	オリエンテーション ・総合的な探究の時間の意義の確認 ・年間予定の確認  ワークシート記入、ドリームマップ作成  校内散策
	3	(知及技)交流活動を通して、他者との交流が人間性を豊かにする貴重な時間であることを理解できるようになる。 (思判表力)交流相手について調べ、交流会の計画を立てることができるようになる。 (学・人)課題解決のプロセスにおいて、互いのよさを認め、協力して取り組もうとする態度を育む。	(知及技)交流活動を通して、他者との交流が人間性を豊かにする貴重な時間であることを理解しようとしている。 (思判表力)交流相手について調べ、交流会の計画を立てることができるようにしている。 (学・人)課題解決のプロセスにおいて、互いのよさを認め、協力して取り組もうとしている。	交流共同学習（沖縄国際大学） ・交流学習事前学習 ・交流共同学習 ・交流学習事後学習	交流学習 ・交流学習事前学習 ・交流学習の企画を考える ・交流相手を知る ・自ら（本校）を知ってもらう術を考える ・交流学習 ・他者とのコミュニケーション ・交流学習での役割 ・交流学習事後学習 ・交流学習を振り返る ・交流学習からの学びを考える
2 学期	60	(知及技)専門学校進学を目指して、自己理解を深め、進学の実像をつかみながら、望ましい学園生活及び職業観を身に付けることができるようになる。 (思判表力)専門学校に関する様々な情報を収集し、知識を得ることができるようになる。 (学・人)自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとする態度を育む。	(知及技)専門学校進学を目指して、自己理解を深め、学園生活や将来の仕事の実像をつかみながら、望ましい学生観、職業観を身に付けることができるようにしようとしている。 (思判表力)進路先に関する様々な情報を収集し、知識を得ることができるようにしている。 (学・人)自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとしている。	進路学習 ・就業体験事前学習 ・就業体験 ・就業体験事後学習  学習成果発表会の取り組み	進路学習 ・就業体験事前学習 ・進路先の専門学校の情報を知る ・自らを知る ・目標を考える ・専門学校卒業後の働く意義を考える ・就業・生活体験 ・働くことを体験する ・就業・生活体験事後学習 ・自らの良さを振り返る ・自らの課題を知る
	3	(知及技)交流活動を通して、他者との交流が人間性を豊かにする貴重な時間であることを理解できるようになる。 (思判表力)交流相手について調べ、交流会の計画を立てることができるようにする。 (学・人)課題解決のプロセスにおいて、互いのよさを認め、協力して取り組もうとする態度を育む。	(知及技)交流活動を通して、他者との交流が人間性を豊かにする貴重な時間であることを理解しようとしている。 (思判表力)交流相手について調べ、交流会の計画を立てることができるようにしている。 (学・人)課題解決のプロセスにおいて、互いのよさを認め、協力して取り組もうとしている。	交流学習（中部農林高校） ・交流学習事前学習 ・交流学習 ・交流学習事後学習	交流学習 ・交流学習事前学習 ・交流学習の企画を考える ・交流相手を知る ・自ら（本校）を知ってもらう術を考える ・交流学習 ・他者とのコミュニケーション ・交流学習での役割 ・交流学習事後学習 ・交流学習を振り返る ・交流学習からの学びを考える
3 学期	3	(知及技)他校の高校生との交流を通して、自己と向き合い、自己実現に向けた資質・能力を身に付けることができるようになる。 (思判表力)目標設定・振り返りを繰り返し、自己実現に向けてやるべきことを明確にすることができるようになる。 (学・人)自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとする態度を育む。	(知及技)他校の高校生との交流を通して、自己と向き合い、自己実現に向けた資質・能力を身に付けようとしている。 (思判表力)目標設定・振り返りを繰り返し、自己実現に向けてやるべきことを明確にしようとしている。 (学・人)自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとしている。	中部農林高校との交流学習  ローソんで一人体験  金融教育	中部農林高校との交流学習  ローソンまで買い物学習 ・道のりを確認 ・予算を確認  ・年度終わり、3学期振り返り
留意点 引継ぎ等					